



方位と選地の謎

出版社 (株)新風書房
 著者 大河内俊光 (会員)
 A 4 版 179 ページ
 価格 2,940 円
 平成 17 年 11 月 11 日発行

辰、巳、戌、亥恵方の構造を探る
 何故この方位の線上に歴史上の古跡・旧跡
 がなるのか。実例をあつめながら、考古
 学資料の渉獵が始まった。
 20 数年前、「十二消息の卦」に出会い、眼
 前の霧が晴れた。それからまた 20 数年を經
 て、いよいよ自説を世に問う。

会員書籍紹介



陰陽道とは何か

出版社 PHP 研究所

著者 戸谷 学(会員)
 価格 777 円

平安時代の陰陽師・安倍晴明にまつわる伝説は尽きない。しかし、その大本である陰陽道について、現代人はどれほど知っているだろうか。
 中国伝来の道教(陰陽五行説)と日本固有の古神道が融合して、さらに密教や修験道もとり入れて日本独自の生成発展を遂げた陰陽道。千五百年にわたり、わが国の政治、宗教、文化に多大な影響をもたらしてきた。
 たとえば、十二支、十干(甲乙丙など)、鬼門、占い、御霊信仰をはじめ、天皇家のさまざまな行事の由来が、じつは陰陽道に基づいていることが多い。その技術や知識は、天文学、地理地勢学、暦学、栄養学など幅広い。また、近年の風水や占いブームとも密接に関わっている。なぜ、天災を予言できるというのか? 果たしてその実相は、科学か、オカルトか?
 本書では、まず、陰陽師の役割について説明し、聖典、聖地聖跡、祭儀、呪術、鑑定実践などの基本知識を解説する。陰陽道の原理をひもとく、はじめての入門書である。

聖なる山とイワクラ・泉

薬師寺慎一



寄贈図書

聖なる山とイワクラ・泉

出版社 吉備人出版
 著者 薬師寺慎一
 A 5 版 243 ページ
 価格 2,100 円

吉備を中心に活躍する古代祭祀研究家が西日本各地の「聖地」を訪ねた。豊富な写真、図版と地図で「聖地」探訪のガイドになる一冊